

住民の生命を守る 3つの助



主体は自主防災組織です。地域の安全は地域で守ろうと、地域の連帯感を基に、地域みんながお互いに助け合って守ることで。



長島町防災マップ

自主防災組織の役割

平常時には、地震や洪水のハザードマップなどを使って防災知識の習得や、防災用資材の整備、人命救助訓練、初期消火訓練といった災害に備える活動に取り組みます。

災害時には、人命を守り、災害の拡大を防ぐ活動を行います。救出活動や避難誘導、初期消火活動、情報の収集や伝達、応急手当などを地域のみんなで力を合せて行います。



救命講習

川床下自主防災会が、心肺蘇生法やAEDの使用方法などを阿久根地区消防組合職員から指導を受ける。

◎ 自主防災組織とは？

住民が地域ごとに団結して、地域ぐるみで自主的に防災活動を行うための集まりです。

◎ なぜ、自主防災組織が必要なの？

大規模な災害が発生した場合、被害は同時多発的に発生します。消防署などの防災機関や行政などでは十分な対応がでない場合があります。このようなとき、住民が協力して、地域ぐるみで復興に取り組む必要があります。

阪神・淡路大震災では、救出された人たちの多くが、近所の人々により救出されたという報告があり、自主的な住民組織の有効性が改めて認識されています。

◎ 自主防災組織はどうやってつくればいいのか？

自主防災組織は、地域の住民が組織結成に合意し、規

約、組織、活動内容を定めることで成立します。

地理的条件や生活環境から見て、地域として一体性を有する大きさがもつとも効果的に活動できる規模となります。そのため、現在の自治公民館単位で結成することが最適です。

現在、全国で自主防災組織の発足が進んでいます。本町では、平成21年度を「自主防災組織発足促進強化年度」と定め、町内の自主防災組織の発足を促進します。

昨年度末から、説明会を実施し、自主防災組織についての理解とご協力をお願いしています。皆さんの地域でも自主防災組織を発足しましょう。

◎ 問い合わせ先

役場総務課消防防災係

(東分遣所内)

Tel (86) 0119